

# 北海道高等学校PTA連合会大会道南大会は、 遺愛PTAの皆さん、同窓生の大活躍で 好評のうちに無事終了いたしました！！

第66回北海道高等学校PTA連合会大会道南大会が、全道から1,140人以上の方々をお迎えし、6月11日～12日（土～日）に函館国際ホテルと市立函館高校および遺愛女子高校を会場に開催されました。

1日目はホテルで、総会・開会式・講演・教育懇談会が行われました。

開会式では、遺愛の三浦由貴子PTA副会長のプロなみの司会のもと、高橋則行PTA会長が歓迎の挨拶を述べました。講演では、遺愛同窓生の講師・田辺鶴瑛さんとお嬢さんの銀冶さんが「不まじめ介護で重荷を下ろして」という題で、3度の介護体験をもとに創作講演を演じ、たくさんの笑いと時には涙を誘いながら大好評を博しました。また、夜の教育懇談会では、アトラクションとして、やはり遺愛の卒業生で、江差追分全国優勝の安澤のぞみさんに江差追分とソーラン節を歌っていただき、本物を楽しんでいただきました。

2日目は市立高校と遺愛で分科会が行われました。市立では20の分科会、遺愛では18の分科会が催され、道南の高校のPTA役員の方々が司会進行を担当し、熱心な話し合いが行われました。終了後は、遺愛では、国の重要文化財である本館とホワイトハウスの見学、国の登録有形文化財である講堂でのパイプオルガン演奏や遺愛アリーナで110名の吹奏楽局員による迫力ある演奏を聴いていただきました。教職員や生徒の丁寧な案内もあり、とても満足していただけたようでした。

今回は私立高校の遺愛が初めて主管校になり、右も左もわからないなかで、前年度の地区当番校の函館西高校の高橋教頭先生および会場校の市立函館高校の佐藤教頭先生の全面的な手助け、道南の公立・私立の校長先生、教頭先生、PTA役員の方々に協力していただき、無事終了できましたことを心から感謝いたします。ありがとうございました。

2016年6月14日（火）



田辺鶴瑛さん講演



銀冶さん講演



安澤さん江差追分



パイプオルガン演奏